

令和5年度

秦野市立渋沢小学校
令和6年2月28日
第10号
Tel 88-7066



渋沢つうしん

《もうすぐ1年生の会》

2月15日（木）にもうすぐ1年生の会がありました。4月から渋沢小学校に入学することも園、保育園、幼稚園の園児を招待して、渋沢小学校のことを知ってもらおうという会です。昨年12月には地域の園児を招待して、来年度最高学年となる5年生が小学校内を案内しました。今回は4月からお兄さん、お姉さんになる1年生が新入学児を案内します。

事前に1年生は、交流会の並び方、交流会で披露する校歌、学校生活の紹介の仕方、学校探検の説明の方法など、生活科の時間に様々な準備を行ってきました。それ以外にも各クラス代表の実行委員さんは、交流会の司会進行の言葉や歓迎の言葉などを練習していました。1年生でも、会を自分たちで進める経験を通して自主性を育てています。

会当日の1年生はとても立派でした。まず、会が始まる前の並び方、待ち方がよく、おしゃべりをする子がいませんでした。実行委員さんの言葉やみんなで歌った校歌からは、たくさん練習してきた自信が感じられました。一番感心したのは、最初の並び方から自分たちが案内する園児の横に移動するとき、教職員の後についていくのではなく自分たちだけでスムーズに移動していたことです。練習していたこととはいえ、たくさんの園児と保護者の方々がいる中で、練習通りに自分たちだけで行動している姿に成長を感じました。その後、校内を案内するときには「次は〇〇へ行ってみようか」「職員室は先生たちがいるところだよ」「階段で転ばないように気を付けて」など優しい言葉で気遣う姿が見られました。もう2年生になる準備がしっかりとできている、立派な1年生でした。



《NEXT GIGA研修会》

2月6日（火）に秦野市の指定を受けて「NEXT GIGA研修会」が渋沢小学校で開かれました。令和元年に文部科学省が新たな学びのスタイルとしてICT機器を活用した「GIGAスクール構想」というものを打ち出しました。その後はタブレット端末の1人1台配備が進み、クラウドの活用、通信ネットワーク環境の実現がなされてきました。渋沢小学校でも全学年においてタブレットを活用した授業が行われ、高学年ではタブレットを使わない日はほとんど無いというところまで来ました。ICT端末活用能力は、これからの時代を生きる子どもたちにとって必要な資質・能力の一つといえます。ただし授業においてICT端末を使うことが目的ではありません。学びの「めあて」を達成するためには様々な方法があり、その方法の一つとしてICT端末があります。ICT端末を使うかどうかは「めあて」を達成するために効果的であるかによって判断されます。その判断を行うのは基本的には教員ですが、端末利用になれてきた高学年では児童が自分で判断することがあります。ICT端末か、ノートと鉛筆か、今日のめあてを達成するために自分にとって効果的な方法は何かを、子どもたちが自分で選択する授業も行われています。これからも子どもたちのゆたかな学びの実現のために取り組みを進めてまいります。



《2月の全校朝会でのお話》

2月6日（火）の全校朝会で清掃についてのお話をしました。渋沢小学校の児童は一生懸命に清掃をする姿が多く見られるので、誉めてあげたかったからです。渋沢小学校は校舎が3棟あり、それぞれをつなぐ渡り廊下が長いです。その長い廊下をぞうきんによる水拭きで丁寧に拭いてくれています。中には「まっ黒チャレンジ」と称して、ぞうきんが真っ黒になるまで床板を熱心に磨く様子も見られます。階段は隅の方にゴミがたまりがちですが、ほうきを上手に使いながらゴミを集めています。流しは手を洗ったり、絵の具セットを洗ったりするので汚れがちですが、たわしなども使って汚れを落とされています。必要以上の水を使わないように節水を各クラスで呼び掛けたところ、水を出す量を考えながら掃除を行っている子もいました。また、どこの掃除場所でも感心するのがこの寒い季節でも水拭きを嫌がらないことです。どれだけ寒くても、しっかりとぞうきを絞り、まじめに取り組む姿を頼もしく思います。

自分たちが学び、成長する場である学校を、自分たちの手できれいに整え、また気持ちよく生活をする。一生懸命、まじめに清掃に取り組む渋沢小学校の児童の良さをこれからも認め、支えていきたいと思ひます。